

北九州市民球場・三萩野球場 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月9日（水） 9：00～12：20
- 2 場 所 ミクニワールドスタジアム北九州 会議室5
- 3 出席者 （検討会構成員） 植田構成員、内田構成員、河邊構成員、
則松構成員、南構成員

（事務局） 都市ブランド創造局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、施設整備担当係長、
担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出

- 応募団体（野球しようぜ！チーム北九州共同事業体）より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答
 - （構成員） 市内には各区1つずつくらい球場があるが、中でも北九州市民球場はプロ野球が開催できる球場ということで、他の球場とは違うPRのご提案があれば教えてもらいたい。
 - （応募団体） 北九州下関フェニックスとしては、これまでプロ野球が開催される球場を利用者、主催者の立場で見てきたが、その中で北九州市民球場はプロユースと言っているものの、実態は他のプロ野球球団が利用する球場とは大きく違う。エレベーターで障がい者の方が移動する手段がない、場内に主催者側の看板が設置できない、等、非常に多くの制約があると感じる。こういったところを改善していきたいと考えている。
素晴らしい天然芝が管理されているところであるため、プロはもちろんのこと、アマチュアにも使っていただきたいと考えている。利用者層を広げて、小中学生にも使ってもらうことで、スポーツ振興にもつながる。広いサービスの可能性があるのが普通の球場とは違うと考える。
 - （構成員） サウンディング調査を実施したとのことだが、どういう団体に、どのような手法で行ったのか。
 - （応募団体） 学童野球を対象に、学童部長を通して、実際に市民球場を利用した人達から意見を集め、吸い上げたもの。それを提案書に載せたが、サンプル数等はわからない。

- (構成員) 北九州市民球場の良いところはどこだと考えるか。
- (応募団体) 北九州市の方々が集まりやすい立地にあることだと考える。また、グラウンドコンディションは北九州市でも一番整っている。選手の立場から言うと、ソフトバンクの選手をはじめ、フェニックス、市内の団体様を含め、怪我をしない。整ったグラウンドで長年子供たちのプレーを支えていくということに関しては、北九州市民球場は最適な場所と考えている。
- (構成員) 財務の面で、北九州下関フェニックスはかなりの債務超過になっているのは否めない。売上高は増えていっているが、赤字解消までには至っていない。どのように考えているのか伺いたい。また、岡崎建工は野球場の管理経験があるのか伺いたい。
- (応募団体) 初年度9000万円の赤字から、今年は3000万円ほどの赤字を予定している。経営的には人件費を中心にかなり改善されている。それ以前に、独立リーグには全国で約30球団ほど所属しているが、基本的にほぼ全ての球団が赤字運営でなりたっている。背景としては野球への思いとか、財政基盤の整ったオーナーに支えられていることが大きい。弊社については、オーナー、社長の球団存続の意思が強いこともあり、問題なく取り組んでいけると考えている。収支の改善については、3年後を目安に、収支のバランスをとっていけば、また独立リーグで優勝したことも追い風になって、若くて有望な人材が集まる球団になるのではないかと考えている。また、岡崎建工単体での野球場の管理については、福岡県立中央公園の野球場管理をさせていただいている。関連企業の知見やサポートも得られており、自社のノウハウと他社のアドバイスを合わせて管理していければ良いと考えている。
- (構成員) 自主事業等は、利用者の方へどれだけの情報が届くかが大事であり、SNS、ホームページが情報発信の手段としてメインになるかと思うが、チラシが個別に予算化されている。こういったアナログ的な手法も必要だとは思うが、チラシはどのくらいの枚数をどういう人たちにどのような手法で届けたいのか伺う。
- (応募団体) チラシ等については、フェニックスの選手が直接商店街や市民センターでまんべんなく配るものとして予算化している。
- (構成員) グラウンドコンディションの話と関連して、今のところ、何らかの企業への再委託が発生するように見受けられるが、どうなのか。また、グラウンドキーパーの確保についてはどのような方針か。
- (応募団体) 指定管理をスタートして実態を把握してからというのは前提だが、基本的には再委託になると思われる。グラウンドキーパーも再委託先から置いてもらうことになると思われる。内製化できる部分がないか、フェニックスの選手にも手伝ってもらったりして、ノウハウを作り上げていながら管理していこうと考えている。
- (構成員) そうすると、支出計画の支出部分で出させていただいているが、

- 指定管理の範囲内で再委託等を行うということか。
- (応募団体) そうである。
- (構成員) 高校野球でみると、野球人口の減少という問題があるが、その中で、女子野球や障がい者野球というのは野球の裾野としてあると思うが、野球の振興という部分でアプローチはしていくのか。
- (応募団体) 野球というジャンルの振興も考えている。ソフトボール、軟式野球等があるが、それを北九州市民球場で、フェニックスの関係者やフェニックスのつながりを活かせるのが私共の強みだと思っているので、小学校の野球教室、小学生未満の野球体験会、等をとおして、市内の野球の中心地を北九州市民球場にするという考えを持って取り組んで参りたい。
- (構成員) 提案書にある、全国規模の大会誘致、地元の食の PR という内容について、北九州市民球場、三萩野野球場で考えると、この部分はハード的な問題もある。駐車場の確保など。そのあたりの大規模集客イベントを開く時に、安全対策等はどのようなことを考えているのか。
- (応募団体) 我々が想定している大会誘致は、独立リーグのグランドチャンピオンシップというもので、現在これに手を挙げる権利がある。その誘致をして、外からくるお客様に体験していただく。今考えている三萩野野球場では1日当たり1万人くらいの集客かと思われる。大きな大会になると、周辺の複合施設であるアレアスやメディアドームとの連携が必要になると思われる。

○ 応募団体（野球しようぜ！チーム北九州共同事業体）退出後に各構成員が採点

○ 応募団体（北九州野球株式会社）より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答

- (構成員) 北九州市民球場は NPB が開催できる市内唯一の施設だが、今は見るスポーツの在り方が変わってきており、ただ観戦するのではなく、いかに感動的なスタジアム体験をできるかという中で、球場体験の価値をいかに上げていくか、工夫があれば伺いたい。
- (応募団体) ホークスの試合で言うと三萩野野球場、三萩野公園を一帯的に利用し、単なる試合観戦ではなく、イベントを行うことで地域のにぎわい創出に寄与している。
- (構成員) 自主事業に関して、ホークスベースボールクリニックの項目には、ナイター照明の収支のみ記載があるが、ホークスの講師の方への謝金等は発生しないのか。
- (応募団体) ホークスとの連携による事業のため、そのような経費は発生していない。また、自主事業であるベースボールクリニックの他に、ベースボールスクールがあるが、こちらは単なる場所貸しのため、経費は発生していない。
- (構成員) 広告予算について、プロ野球の時とそれ以外の時の分配割合を

ざっくりでいいので伺いたい。また、社会貢献・地域貢献の記載があるが、地域コミュニティの創出ということでセミナーやものづくり体験というものを挙げていただいているが、これは利用料をとるのか、無料なのか伺いたい。

(応募団体) 北九州市民球場での広告予算の割り振りについて、ホークスの試合では、ホークスが行う広告事業に乗じて広告を行う形をとっているため、特に予算がかかることはない。その他の広告活動は基本的にホームページ等で行っているため、特段、経費はかかっていない。また、地域貢献活動については、北九州野球株式会社の自主事業でやろうとしているので、基本的には会社から原資を回して、地域の方々に様々なことを体験してもらうという事業アイデアだけがあるが、具体的に料金等をどうするかは決まっていない。

(構成員) これまで指定管理をしてきて見えてきた課題や対策はあるか。

(応募団体) ハード面では、現在、広告看板、試合時の飲食売店、施設の管理、これらを一体化して運営することによって、施設をちゃんと維持できるという風に思っている。ソフト面では、来場者をいかに増やすか、イベントの回数をどこまで増やせるかが一番の課題。

- 応募団体（北九州野球株式会社）退出後に各構成員が採点
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

(構成員) あくまでも提案書とプレゼンだけで決めなければならないという前提で、どちらも同じくらいの印象。野球しようぜ！チーム北九州共同事業体は新しい提案があったが、市民球場でなくてもよい提案であった。北九州野球株式会社は、前回公募時から提案書のクオリティが上がっておらず、具体的な内容や予算等が書かれていない。実績の部分で北九州野球の点数が高くなった。

(構成員) 非常に迷った。野球しようぜ！チーム北九州共同事業体は提案が面白く、いろんな人を取り込もうと具体的な提案をしていたが、市民球場でなくてもよいものではあった。

北九州野球株式会社に関してはこれまでの経験や実績がものを言っているが、興味がない人には届かない印象ではある。どちらもさほど変わらないというのが感想だが、野球しようぜ！チーム北九州共同事業体の「市民のための球場」といったのが良かった。

(構成員) 野球しようぜ！チーム北九州共同事業体は意欲的な提案ではあるが、芝生やフィールドの維持管理というところで、グランドキーパーさんが再委託で、うまくいかなかったときどうするのかなど、やや安定性に欠ける提案と感じた。

北九州野球株式会社はもう少し数字や内容等を押さえて提案をしてもらいたいと感じたが、安定的な維持管理、興業の実施を考えて北九州野球株式会社となった。提案内容が十分だったかというところではない。

(構成員) どちらも同じくらいの印象。これまでの経験と実績から、市民球場の芝生に定評があるのは聞いている。利用者目線で見るときに、北九州野球株式会社が管理運営したほうが、安心感があるのかと思う。

(構成員) 長年やってきたところと新しいところの構図になり、ホークスを1試合呼べるか呼べないかみたいな話になっているかもしれないが、新しいことをやってくれそうなところに賭けてみようという期待で、野球しようぜ！チーム北九州共同事業体の点数を高くした。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。